

# プログラム

第1日目 6月18日(土)

---

9:00～ **開 場**  
学会企画プログラム・研修セミナー受付開始(4階 国際会議室 マリンホール前)

---

10:00～12:00 **学会企画プログラム・研修セミナー**(4階 国際会議室 マリンホール)  
座長：増澤 菜生(医療法人水明会 佐瀧荘)

## 『遊戯療法の基礎と実践』

吉田 弘道 専修大学人間科学部

※事前申し込みが必要です。研修セミナーのお知らせの項をご参照ください。

---

11:00～12:20 **拡大委員会**(3階 小会議室 304)

---

12:00～ **大会受付開始**(4階 国際会議室 マリンホール前)

---

12:20～ **開会挨拶**

---

12:30～14:10 **一般演題 A 9題**  
座長：汐田 まどか(鳥取県立総合療育センター)  
金生 由紀子(東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野)

## [情緒障害・心理]

### A-1 平成22年4月に新設した情緒障害児短期治療施設入所児の概要

○小笠原 彩(医師)<sup>1,2)</sup>、丹羽 健太郎<sup>1)</sup>、滝口 慎一郎<sup>1,2)</sup>、桑島 真理<sup>1,2)</sup>、下泉 秀夫<sup>1,2)</sup>、秋場 博<sup>1)</sup>

1) 那須こどもの家、2) 国際医療福祉リハビリテーションセンター小児科

### A-2 小児思春期に認められる統合失調症様病態に関する臨床的検討

○杉山 登志郎(医師)

浜松医科大学医学部児童青年期精神医学講座

### A-3 加害児童の背景に潜むうつ病

○稲垣 貴彦(医師)<sup>1)</sup>、小西 瑞穂<sup>2)</sup>、山田 尚登<sup>1,3)</sup>

1) 滋賀医科大学医学部医学科地域精神医療学講座、2) 東海学院大学人間関係学部、  
3) 滋賀医科大学医学部医学科精神医学講座

### A-4 療育機関に通所する子どもをもつ母親の心理的特徴 —不安感、BDI-IIに着目して—

○樋掛 優子(教員、心理士)

新潟青陵大学

## A-5 日本の小児科心理士に関する文献のまとめ

○松寄 くみ子(心理士)<sup>1)</sup>、海野 千畝子<sup>2)</sup>

1) 跡見学園女子大学、2) 兵庫教育大学

### [ 発達障害・健診 ]

## A-6 広汎性発達障害と非行：少年鑑別所入所者の検討

○塩川 宏郷(医師)

東京少年鑑別所

## A-7 新潟県下越地区2市町における3歳児健診の実態について

○稲月 まどか(医師)

医療法人白日会 黒川病院

## A-8 重症子宮内胎児発育不全を伴った超早産児の3歳時精神運動発達の検討

○万代 ツルエ(心理士)<sup>1)</sup>、森岡 一朗<sup>1)</sup>、北山 真次<sup>1)</sup>、横山 直樹<sup>1)</sup>、松尾 雅文<sup>2)</sup>

1) 神戸大学医学部附属病院 小児科、2) 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

## A-9 母子相互作用時のカテゴリカルな姿勢分析の妥当性検討

○石川 道子(医師)<sup>1,2)</sup>、難波 久美子<sup>2)</sup>

1) 名古屋市立大学 小児科、2) 武庫川女子大学

---

14:20～15:40 教育講演

座長：染矢 俊幸(新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野)

### 『脳ブームの迷信、真実、教訓』

藤田 一郎 大阪大学大学院生命機能研究科

---

15:50～17:30 緊急シンポジウム

座長：宮本 信也(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

### 『大規模災害時における子どもの心のケア』

#### 1. 新潟県中越地震・中越沖地震における子どものこころのケアと長期追跡調査

遠藤 太郎

新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

#### 2. 災害で親を亡くした子どもへの理解と支援

奥山 真紀子

国立成育医療研究センター

#### 3. 被災地の子どもたちの現状

福地 成

東北福祉大学せんだんホスピタル

座長：田中 康雄（北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター）  
小石 誠二（山梨県立精神保健福祉センター）

[発達障害・療育]

**B-1** ペアレント・トレーニングの地域普及に向けた取り組み

○横山 まどか（心理士）、山口 美保子、石橋 弥雪、汐田 まどか、北原 侑  
鳥取県立総合療育センター

**B-2** 地域の保健師・専門職に対するペアレント・トレーニング実施運営の研修・  
コンサルテーションの効果について

○野村 和代（心理士）<sup>1)</sup>、秦 基子<sup>2)</sup>、松尾 理沙<sup>3)</sup>、井上 雅彦<sup>3)</sup>、山村 淳一<sup>1)</sup>、  
杉山 登志郎<sup>1)</sup>

1) 浜松医科大学医学部児童青年期精神医学講座、2) 鳥取医療センター、3) 鳥取大学医学系研究科

**B-3** ADHD のペアレント・トレーニングその後

○新田 初美（医師）  
新潟県立吉田病院

**B-4** 肢体不自由児施設としての当園が担うべき発達障害への役割  
—外来や地域支援を通しての試み

○越知 信彦（医師）、箕越 美津子  
愛知県立心身障害児療育センター第二青い鳥学園小児科

**B-5** 行動発達の問題を持つ子の「終診後再受診についての検討

○渡部 泰弘（医師）<sup>1)</sup>、高橋 勉<sup>2)</sup>

1) 秋田県立医療療育センター、2) 秋田大学大学院医学研究科小児科学

**B-6** 広汎性発達障害の易刺激性に aripiprazole が奏効した一例

○斎藤 摩美（医師）、遠藤 太郎、染矢 俊幸  
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

座長：杉山 登志郎（浜松医科大学医学部児童青年期精神医学講座）

『エビデンスに基づいた自閉症療育』

井上 雅彦 鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座

共催：ヤンセンファーマ株式会社

## 第2日目 6月19日(土)

8:00~8:55 モーニングセミナー

座長：石川 道子(武庫川女子大学人間関係学科)

### 『PECS の理論と実践』

今本 繁 ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン株式会社

9:00~10:50 一般演題 C 10題

座長：宮本 信也(筑波大学大学院人間総合科学研究科)  
宮島 祐(東京医科大学小児科)

#### [生物学的知見]

##### C-1 感覚刺激への反応異常を評価するための試み

○梅田 亜沙子(心理士)<sup>1)</sup>、岩永 竜一郎<sup>2)</sup>、萩原 拓<sup>3)</sup>、鈴木 勝昭<sup>4)</sup>、辻井 正次<sup>5)</sup>、  
谷 伊織<sup>4)</sup>

1) こども発達センター、2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、3) 北海道教育大学、  
4) 浜松医科大学子どもこころの発達研究センター、5) 中京大学現代社会学部

##### C-2 軽度発達障害の児童に対する春ウコン摂取による脳機能の発達効果

○鎌田 道彦(心理士)<sup>1)</sup>、三好 輝<sup>2)</sup>

1) 仁愛大学、2) くじらメンタルクリニック

##### C-3 トリプトファン水酸化酵素2(TPH2) 遺伝子と広汎性発達障害との関連

○江川 純(医師)<sup>1)</sup>、遠藤 太郎<sup>1)</sup>、田村 立<sup>1,2)</sup>、増澤 菜生<sup>3)</sup>、杉山 登志郎<sup>4)</sup>、  
染矢 俊幸<sup>1)</sup>

1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、2) 新潟県立精神医療センター、3) 佐潟荘、  
4) 浜松医科大学児童青年期精神医学講座

##### C-4 広汎性発達障害における利き手と視床体積との関連

○江川 純(医師)<sup>1)</sup>、遠藤 太郎<sup>1)</sup>、田村 立<sup>1,2)</sup>、染矢 俊幸<sup>1)</sup>

1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、2) 新潟県立精神医療センター

##### C-5 外傷性ストレス症状と持続処理課題中の前頭前野反応との関係について： 新潟県中越地震を経験した子どもにおける近赤外線スペクトロスコピー研究

○橋 輝(医師)<sup>1)</sup>、田村 立<sup>1,2)</sup>、染矢 俊幸<sup>1,3,4)</sup>

1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、2) 新潟県立精神医療センター、  
3) 新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター、  
4) 災害・復興科学研究所地域安全科学部門災害医学分野

#### [トラウマ・虐待]

##### C-6 災害後の子どもたちに対する中・長期的な支援活動 —ジャワ島バンツール地区における「子どもの家活動の経験から—

○高田 哲(医師)、中井 靖、山口 志麻、江口 亮太  
神戸大学大学院保健学研究科

## C-7 被虐待児の父親に関する ADHD 調査

○山村 淳一(医師)、野村 和代、杉山 登志郎  
浜松医科大学医学部児童青年期精神医学講座

## C-8 強い養育困難感を訴えて受診し虐待の域の養育過誤を認めた親へのコミュニケーション教育による介入

○山本 桂子(心理士)、竹森 昌子、牛田 美幸  
国立病院機構香川小児病院児童心療内科

## C-9 “喪の作業”を要すると考えられた心身症の1例

○竹森 昌子(心理士)、山本 桂子、牛田 美幸  
国立病院機構香川小児病院児童心療内科

## C-10 注意欠如・多動性障害様の症状を持つ広汎性発達障害児および被虐待歴を持つ注意欠如・多動性障害児へのアトモキシチンの効果についての検討

○杉本 篤言(医師)<sup>1)</sup>、松本 慶太<sup>1)</sup>、鈴木 善統<sup>1)</sup>、松平 登志子<sup>1)</sup>、山村 淳一<sup>1,2)</sup>、  
加藤 志保<sup>1)</sup>、川村 昌代<sup>1)</sup>、新井 康祥<sup>1)</sup>、栗山 貴久子<sup>1)</sup>、東 誠<sup>1)</sup>、杉山登志郎<sup>1,2)</sup>  
1) あいち小児保健医療総合センター心療科、2) 浜松医科大学児童青年期精神医学講座

---

11:00～12:00 教育セミナー

座長：奥山 真紀子(国立成育医療研究センター)

### 『PARSによる広汎性発達障害の支援ニーズの把握』

辻井 正次 中京大学現代社会学部

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

---

12:00～13:30 役員会(3階 小会議室303、304)

---

12:10～13:10 ランチョンセミナー

座長：栗山 貴久子(あいち小児保健医療総合センター)

### 『子どもの発達障害と comorbidity』

岡田 俊 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

共催：日本イーライリリー株式会社

---

13:30～14:20 総会(4階 国際会議室 マリンホール)

『発達障害は本当に増えているの？ —我が国の疫学調査の実態から—』

1. 新潟県阿賀野市における広汎性発達障害の疫学調査について

田村 立<sup>1,2)</sup>、遠藤 太郎<sup>1)</sup>、江川 純<sup>1)</sup>、杉本 篤言<sup>1)</sup>、染矢 俊幸<sup>1)</sup>

1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、2) 新潟県立精神医療センター

2. 名古屋市における自閉症スペクトラム、精神遅滞、脳性麻痺の頻度について

鷺見 聡

名古屋市西部地域療育センター

3. 自閉症スペクトラム診断例の爆発的増加は何を映しているのか？

本田 秀夫

山梨県立こころの発達総合支援センター

4. 自閉症および自閉症スペクトラム障害は本当に増えているか？

武井 教使、土屋 賢治

浜松医科大学子どものこころの発達医学センター